
一人東京

あきねこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一人東京

【Nコード】

N2325B

【作者名】

あきねこ

【あらすじ】

ギターで夢をみた女の子のお話し。東京で一人歌い続ける。だれも聞いてくれない中、歌い続けた。

ギターが好きだ。

ギターは私にとって夢だった。

なくてはならないものだった。

私は、夢をみて東京へ行った。

福岡から飛び出した。

福岡の都心はわりと発達していて都会には近かった。

路上ライブをしてもお客さんはとまってくれる。

私はギターで生きていける。

そんなうぬぼれで、福岡にあるなにかも捨てて置いてきて飛び出した。

現実は違った。

私は甘かった。

東京は冷たい。

私はこの東京で歌い続けている。

しかし、誰もとまってくれない。

私をチラッと見ては早歩きでどこかへ行ってしまう。

なぜ？

私はだめなの？

福岡へ帰りたくなった。

何もない部屋。

ギターと楽譜しかない部屋。

寂しい。

一人で今日もまたコンビニのお弁当。

おいしくない。

母の料理が食べたい。

部屋にいと寂しいのでまた外へ行き歌う。

それでも寂しさが増える一方だ。

私は歌う。

誰か聞いて。

私は歌っています。

東京の空気は嫌い。

にごっていて、いろんな汚さがまざっている。

ノドが痛い。

もうだめかな。

部屋に帰り、曲を作る。

ギターを弾きながらしたいけど、苦情がくるから我慢する。

東京は広いけど狭い。

福岡にいたときの純粋な気持ちはどこにいったんだろう。

あんなにギターが好きだったのに。

新しくできた曲。

今の私の気持ちが表れた曲。

聞いている自分でせつなくなった。

ロコツに帰りたいと言う気持ちが表れた。

外にでて、今日も歌う。

誰も聞いてくれない。

楽譜をめくり、できたばかりの新しい曲を歌ってみる。

一人の女の子が私の前で足を止めた。

私はびっくりして曲をやめてしまいそうになった。

でも歌い続けた。

嬉しかった。

はじめてのお客さんだから。

気持ちを精一杯込めて歌った。

1曲歌い終わると、女の子は私の前に置いていた、真っ白な感想ノートに一言書いてくれた。

「せつない曲でした。私も田舎に帰りたくなりました。また聞きます。頑張って下さい！」

「頑張ってください」

私は真っ白だったノートを何度も見直した。

何度も何度も。

私は頑張れる。

頑張ります。

(後書き)

文章まとまってないかもしれませんが、よかったら評価お願いします
す ($0 < x < 1$) 0

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2325b/>

一人東京

2010年10月12日03時24分発行